

2022(令和4年)～2023(令和5年)

公演企画のご案内

次代を担う若きヴィルトオーゾ
土岐 祐奈
(ヴァイオリン)



「題名のない音楽会」「世界一受けたい授業」
などのテレビ番組でおなじみの
青島 広志 (ピアノ・お話し)



繊細でダイナミック、
ドラマティックなロマンピアニズムの継承
山岸 ルツ子
(ピアノ)

弦楽四重奏の楽しみをすべての人に
クレセントクアルテット
(Crescent Quartet)



クラシックを遊ぶ音楽実験室
スギテツ



「弦の巧」
読売日本交響楽団コンサートマスター
小森谷 巧
(ヴァイオリン)

音楽人
山内 達哉



NHK交響楽団メンバーによる
アンサンブルクララルテ



株式会社いちべる

〒165-0033 東京都中野区若宮2-33-5 TEL:050-3337-7639 FAX:03-5373-7760 info@ichibell.net http://ichibell.net/



青島広志の おしゃべりコンサート企画

クラシック界のエンターテイナー
ブルー・アイランド氏こと青島広志の
コンサートは、愉快、楽しい、面白い、
そして、かなりためになるコンサート。

クラシック音楽を敬遠しがちな皆さんにも、
このコンサートを聴けば、
ちょっとしたクラシック通に
なっただけの企画ばかりです。



おしゃべりコンサート プログラムの一例

《日本の歌 世界の音楽》 曲目

いずみたく：手のひらを太陽に
湯山 昭：おはなしゆびさん
大中 恩：いぬのおまわりさん／サッチャン
岡野貞一：春が来た
井上武士：うみ
文部省唱歌：村まつり／雪
瀧 廉太郎：花
山田耕筰：待ちぼうけ
中山晋平：鉾をおさめて

- ドイツ
ベートーヴェン：パガテル「エリーゼのために」
シューベルト：野ばら
- フランス
モーツァルト：キラキラ星変奏曲
クラリネットこわしちゃった
- ポーランド
バダジェフスカ：乙女の祈り
ショパン：小犬のワルツ
- イタリア
カプア：オー・ソレ・ミオ
ヴェルディ：歌劇「リゴレット」より「女心の歌」
- ロシア
ロシア民謡：トロイカ
- アメリカ
フォスター：おおスザンナ
ロンバーグ：ミュージカル「学生王子」より「セレナーデ」等



クラシック音楽をより楽しく 小ホールから大ホールまで

オペラの歴史(オペラからミュージカルまで)

400年以上の間、西洋の人々の娯楽の第一位となって来たのが劇場音楽です。モーツァルト、ロッシーニ、ヴェルディ、プッチーニといったオペラ作曲家の作品は、つねに笑いと感動を与えて来ました。皆さんのよく知っているアリアを中心に、歌手と青島広志があなたとタイムマシーンで時間旅行します。

日本の歌はすばらしい!

明治時代から現在までずっと続いている日本の歌の世界。ひいおじいさん・おばあさんからお孫さんまで、必ず知っているなつかしい歌を皆で歌いながら、作曲家や詩人のこともお話しします。ご家族でどうぞおいでください。

女性のためのコンサート

作曲家って男性しかいないと思ったら大間違い。「乙女の祈り」「アニー・ローリー」「アロハ・オエ」「おうま」「北風小僧の寒太郎」「愛の讃歌」、どれも女性の作品です。彼女たちが切り開いて来た人生を知ると、女性のすばらしさがわかるというものです。

深く楽しい歌曲の世界

派手な演技をつけなくても、詩と音楽だけで十分に満足できる歌曲はオペラよりも前から作られています。どの国にも独特な作品があり、しかもそのお国柄がはっきりと感じられる、そんな曲を皆さんと一緒に巡りましょう。



音楽の母
ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル
(Georg Friedrich Händel)
1685~1759年



イタリアオペラの巨匠
ジャコモ・プッチーニ
(Giacomo Puccini)
1858~1924年



ピアノの詩人
フレデリック・ショパン
(Frédéric François Chopin)
1810~1849年



歌曲王
フランツ・シューベルト
(Franz Peter Schubert)
1797~1828年



旋律こそ命
フェリックス・メンデルスゾーン
(Jakob Ludwig Felix Mendelssohn)
1809~1847年



神童
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
(Wolfgang Amadeus Mozart)
1756~1791年



オペラ王
ジュゼッペ・ヴェルディ
(Giuseppe Verdi)
1813~1901年



楽聖
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
(Ludwig van Beethoven)
1770~1827年



音楽の父
ヨハン・ゼバスティアン・バッハ
(Johann Sebastian Bach)
1685~1750年



ロシア音楽の父
ピョートル・チャイコフスキー
(Pyotr Ilyich Tchaikovsky)
1840~1893年



重厚なロマン派
ヨハネス・ブラームス
(Johannes Brahms)
1833~1897年

イラスト/青島広志



©GAKKEN Plus

1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程を首席で修了し、修了作品のオペラ「黄金の国」(原作:遠藤周作)が同大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術フェスティバル主催公演となる。作曲家としては「火の鳥」(原作:手塚治虫)、「黒蜥蜴」(原作:三島由紀夫)、管弦楽曲「その後のピーターと狼」、合唱曲「マザーグースの歌」、ミュージカル「11匹きのネコ」など、その作品は300曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も50年を越え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。NHK「ゆかいなコンサート」の初代監督を8年務め、現在もNHKラジオ「みんなのコーラス」「高校音楽講座」にレギュラー出演のほか、テレビ朝日「題名のない音楽会」アドバイザー、日本テレビ「世界一受けたい授業」、テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」、TBSラジオ「こども電話相談室」にも出演。著書に『モーツァルトに会いたくて』『青島広志でございます!』『あなたも弾ける!ピアノ曲ガイド』(学研プラス)、『やさしくわかる楽典』(日本実業出版社)、『作曲ノススメ』(音楽之友社)、『21世紀こどもクラシック』(全5巻・小学館)、『音楽家ってフシギ』(東京書籍)、『オペラ作曲家によるヘンなオペラ超入門』、『作曲家の発想術』(ともに講談社)などがある。東京藝術大学元講師、洗足学園音楽大学客員教授。日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。

クラシックを遊ぶ音楽実験室

スギテツ 杉浦 哲郎 (すぎうら・てつろう) ピアノ・作曲・編曲
 岡田 鉄平 (おかだ・てっぺい) ヴァイオリン



「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマに、誰もが知っているクラシックの名曲をさまざまな音楽や環境音とマッシュアップ(=融合)させ、聴くだけでなく観て楽しいコンサート活動が続けるピアノとヴァイオリンのデュオ。「題名のない音楽会」「ららクラシック」等の音楽番組にも度々出演し、東京フィルハーモニー交響楽団・名古屋フィルハーモニー交響楽団などとも共演。近年では、NHK Eテレの教育番組「おんがくブラボー」レギュラー、「NHK全国学校音楽コンクール(Nコン)」全国大会ゲスト、音楽教育誌「ムジカノーヴァ」(音楽之友社)連載など、次世代に音楽の楽しさを伝える役割も担い始め、小・中・高等学校の芸術鑑賞会やワークショップなどの実績も数多い。また「鉄道」をテーマにした作品も数多く、JR東海のOCMなど関連音楽を手がけるほか、鉄道をテーマとしたラジオ番組(FM NACK5「スギテツのGRAND NACK RAILROAD」)のパーソナリティーも務め、2012年日本民間放送連盟ラジオエンターテイメント部門で優秀賞を受賞。2014年にリリースした東海道新幹線 50周年記念アルバム「走れ! 夢の超特急楽団」が「輝く! 日本レコード大賞 企画賞」を受賞。「クラシックで笑顔を創る」をモットーに、年間100本を超えるステージを全国各地で展開している。

ピアノ・作曲・編曲 **杉浦 哲郎** (すぎうら・てつろう)

名古屋市出身。4歳よりピアノを始める。法政大学社会学部在学中より音楽業界に関わり、アレンジャー・コンポーザーとしてこれまでに100本以上のCM音楽を手掛ける他、「劇団ワハハ本舗」舞台音楽、「セントレア空港音楽祭」監修、「デーモン閣下」ソロツアーのパンマスの等、幅広いジャンルで活動。現在、FM NACK5、東海ラジオ、NHK ラジオ第一(名古屋放送局)にレギュラー出演。音楽誌「ムジカノーヴァ」(音楽之友社)にて連載を執筆。趣味は鉄道の旅で、JR 東海・JR 四国・東急・嵯峨野観光鉄道等のCM音楽や駅メロディを始め、関連の楽曲制作実績も数多い。

ヴァイオリン **岡田 鉄平** (おかだ・てっぺい)

福岡県行橋市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏科卒業後、同大学研究科修了。長江杯国際音楽コンクール第1位ほか、多数のコンクール入賞後、数々の楽団にソリストとして出演する他、ヤマハメソッドのお手本CDなど、レコーディングの実績も数多い。2015年には、自身の超絶技巧を駆使し、サラサーテやパガニーニなどの難曲に挑んだクラシック・ソロアルバムをキングレコードよりリリース。現在、ソロ、室内楽、アンサンブルなど、さまざまな分野で活躍中。

クラシックで笑顔を創る **スギテツのワークショップ・SCHOOL**

子供達にとって、本格的な生演奏に触れる初めての機会となるかもしれないスクールコンサート。生演奏に耳を傾け、曲の背景を奏者が語る・・・そんな一般的なクラシックの学校公演とは一線を画すスギテツのステージは、視覚的な要素や客席とのコミュニケーションにも重点を置き、聴いて、観て、参加して、

いつの間にかさまざまな音楽や楽器に興味を持ててしまうパフォーマンスが満載です。スギテツによる”クラシックで笑顔を創る”ステージを通じて、音楽の素晴らしさや楽器の魅力を伝え、文化芸術への関心を持ってもらえる事に、少しでもお役にたてればと考えております。



アンサンブル クラルテ

初めて演奏会にいらっしゃる方にもより親しみやすく楽しんでいただけるコンサートを、そんなコンセプトで1987年NHK交響楽団のメンバーで結成された「アンサンブル クラルテ」。クラシックの様々な名曲を質の高い演奏と、オリジナルアレンジで皆様にお届けします。

横山 俊朗(ヴァイオリン)

宮里 親弘(ヴァイオリン)

飛澤 浩人(ヴィオラ)

三戸 正秀(チェロ)

新納 益夫(コントラバス)

鈴木 永子(ピアノ)



プログラム一例

ヨハン・シュトラウス: ポルカ「狩り」
モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジークより 第1楽章
マスカーニ: カヴァレリア・ルスチカーナ
チャイコフスキー: 花のワルツ
ブラームス: ハンガリー舞曲 第5番
ドヴォルザーク: スラフ舞曲 作品 72-2
ショパン: 「軍隊ポロネーズ」
アンダーソン: 舞踏会の美女、踊る子猫
ピアソラ: リベル・タンゴ 他

弦楽四重奏の楽しみをすべての人に

(Crescent Quartet)

クレセントクアルテット

2020年、東京音楽大学出身者によって結成される。

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンから始まりショスタコーヴィッチまで室内楽の王道として多くのクラシックファンを魅了する弦楽四重奏。クレセントクアルテットはそうした名曲の演奏はもちろん、弦楽四重奏の魅力と卓越したアンサンブルをより多くの聴衆に身近に感じてもらう事を主眼とし、聴きなじみのある小品、映画音楽、ポップスまでもレパートリーに取り組み活動をしている。

巖築 朋美 (がんちく・ともみ) 第1ヴァイオリン

フライブルク音楽大学大学院、東京音楽大学大学院を修了。東京ニューシティ管弦楽団と共演。南西ドイツ放送交響楽団、ウィーン放送交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団を経て、現在東京フィルハーモニー交響楽団ファースト・ヴァイオリン奏者。

大杉 那々子 (おおすぎ・ななこ) 第2ヴァイオリン

東京音楽大学大学院修了。第1回横浜国際音楽コンクール第3位入賞、IMA ホール20周年記念コンサートにソリストとして東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共演。ザルツブルグモーツァルト音楽院サマーアカデミーにてヴァディム・グリユッツマンのクラスを修了。これまでに西田博、岡山潔、藤原浜雄、海野義雄各氏に師事。

蛭海 たづ子 (ひるみ・たづこ) ヴィオラ

東京音楽大学器楽科卒業。ピアノを森礼子氏に師事、ヴィオラを宮澤健一、兎東俊之、田中あやの各氏に師事。室内楽を田中千香士、堀了介の各氏に師事。新星日本交響楽団を経て2001年より東京フィルハーモニー交響楽団団員。

鈴木 穂波 (すずき・ほなみ) チェロ

9才よりチェロを始める。小澤征爾音楽塾に参加。2013年やなか音楽ホール主催チェロリサイタル開催。2016年THE ORCHESTRA JAPAN メンバー。2017年より富士山静岡交響楽団団員。SONY STAND UP ORCHESTRA メンバー。アフィニス夏の音楽祭2018、2019年参加。これまでにヴァーツラフ・アダミーラ、小貫詠子、河野文昭、荻田雅治、ドミトリー・フェイギンの各氏に師事。

プログラム一例

モーツァルト: 弦楽四重奏曲第19番 八長調「不協和音」
ショスタコーヴィッチ: 2つの小品
エルガー: 愛の挨拶
エンニオ・モリコーネ: ニューシネマパラダイス~愛のテーマ
チャップリン: 「ライムライト」よりエターナリー
久石譲: 風のとおり道
ビートルズ: 「オス・ラ・ディ、オス・ラ・ダ」
永六輔: 見上げてごらん夜の星を



Tomomi Ganchiku



Nanako Ohsuki



Tazuko Hirumi



Honami Suzuki

山岸ルツ子 (やまぎし・るつこ) ピアニスト

新しいピアノの魅力ーピアノの魔術師リストとそれからー

“… ショパンの《幻想即興曲》は、失踪する異次元のパスセージの中、エモーションが垣間見られ、聴く者を感動させる魔力に満ちていた。” 月刊「ショパン」。カナダ生まれ。桐朋学園大学在学中にバンクーバーに留学。97年より巨匠ラザール・ベルマンの下に弟子入り、以後8年間にわたり最後の弟子としてイタリアにて研鑽を重ねる。95年イタリア・ローマ国際コンクール第3位受賞。97年カナダ、キワニスコンクール、コンチェルト・ソロ両部門において総合第1位受賞。同年カナダ、B.C. アソシエーション・パフォーミング・アーツ・フェスティバル第1位受賞。全国各地でのコンサート他、海外ではヨーロッパを中心に演奏活動を展開。近年は、北米・南米公演に続き2019年N.Y. カーネギーホールに出演、聴衆の熱狂的な支持を得て広く活躍の場を広げている。2007年より「学問と芸術の融合文化の振興」活動を開始し、国立天文台、米カリフォルニア大学 (UCSD) 等、国内外の数々の学術研究機関に招聘されている。これまでに8枚のCDがリリースされている。

プログラム一例

- ショパン：幻想即興曲 Op.66
- ショパン：ノクターン 遺作 嬰ハ短調
- リスト：愛の夢第三番
- リスト：ラ・カンパネラ
- ラヴェル：水の戯れ
- ラヴェル：道化師の朝の歌
- ドビュッシー：月の光
- ドビュッシー：喜びの島
- ストラヴィンスキー：ペトルーシユカ



ホームページ



フェイスブック



次代を担う若きヴィルトオーゾ

土岐 祐奈 (とき・ゆうな) ヴァイオリニスト

ヴェニシアフスキ青少年国際コンクール ジュニア部門 第1位

第6回ノヴォシビルスク国際ヴァイオリンコンクール第1位及び新曲賞受賞。第20回ニューヨーク SMF コンチェルトコンペティション第1位。第12回リピンスキ・ヴェニシアフスキ青少年国際ヴァイオリンコンクール第1位。東京都知事賞受賞。第82回日本音楽コンクール第3位。第83回同コンクール第2位。これまでに東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等と共演の他、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。2013年～2018年かさま国際音楽アカデミーにて、かさま音楽賞受賞。横須賀芸術文化財団主催「フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ」、ヤマハホール等にてリサイタルを行う。2015年マキシム・ヴェンゲロフフェスティバルにてヴェンゲロフ氏と、2018年パブロ・カザルス音楽祭にて Artis Quartet (ウイツ・アルティス・クワット) と共演。皇居内桃華楽堂御前演奏会、HANEL 室内楽シリーズ、桐朋学園室内楽演奏会、プロジェクトQ 等に出演。2013年～2015年一般財団法人 ITOH より1716年製ストラディバリウス「ハンマー」貸与。2017年、学校より推薦を得て英国王立音楽院に短期留学し、ジュルジ・パウク氏に師事。ミハエラ・マーティン、ヤール・クレス、エドワード・シュミダー各氏等のマスタークラスを受講。これまでにアンナ・スタルノフスカヤ、鈴木亜久里、辰巳明子各氏に師事。またスイスのアカデミーにて、ザハール・ブロン氏の指導を受ける。室内楽を山崎伸子、藤原浜雄、大山平一郎各氏等に師事。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業、同大学院修士課程音楽研究科修了。ベルリン放送交響楽団アカデミーを経て、現在シュターツカペレ・ドレスデン契約団員、ベルリン芸術大学大学院にてマーク・ゴトーニ氏に師事。ヤマハ音楽奨学支援奨学生。2019年度、2020年度ロームミュージックファンデーション奨学生。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。Music Dialogue アーティスト。



ホームページ



フェイスブック

「弦の巧」読売日本交響楽団コンサートマスター

小森谷 巧 (こもりやたくみ) (ヴァイオリン)

両親にヴァイオリンの手ほどきを受け、桐朋学園音楽科ソリストディプロマコースを経て、ウィーン国立音大へ留学。その後英国へ渡る。徳永二男、ヨゼフ・スーク、イフラ・ニーマンらに師事。リピツァヴァイオリンコンクール、フムル国際コンクール等で、特別賞、シェリング賞などを受賞。英国を中心に欧州で活躍。「The STRAD」誌で好評を得る。英国王立音大の演奏ディプロマを首席で獲得し、帰国。1987年、東京交響楽団に入団、首席コンサートマスターとして活躍。93年よりストリングスアンサンブル「ヴェガ」のディレクター。94、96年には東京交響楽団ヨーロッパ公演のソリストとして、ウィーン、ミュンヘン、リスボン、バレンシアの各地で好評を博す。91年、第1回出光音楽賞受賞。99年より読売日本交響楽団のコンサートマスター。ソリストとしては、東京を中心に定期的にリサイタルを行い、常に高い評価を得、読売日本交響楽団、東京交響楽団、ロイヤル室内管、仙台フィルハーモニー管弦楽団などにも協演をしている。室内楽奏者として、各地のさまざまな音楽祭で活躍しているほか、2006年から、ルートヴィヒ弦楽四重奏団、08年から、ザ・グランド・トリオを結成し活動している。またこれまでに、ギンター・ピヒラー、ネルソン・フレイレ、ジャン・ワン、などとも共演している。近年は指揮者としても古典派の作品を中心に演奏活動をしている。07年には、クラシカ・ハヤマのスパークリングオペラ《ラ・ボエーム》を指揮し、好評を博した。現在、昭和音楽大学教授。アンサンブル HIMUKA音楽監督、椿音楽教室名誉講師。サイトウ・キネン・オーケストラ、読売日本交響楽団コンサートマスター。



ジャンルを超え音楽で日本の心をプロデュースする

音楽人 山内 達哉 (やまうち たつや) (ヴァイオリン・作曲・音楽監督)

ヴァイオリニストの枠を超え、イベント企画、音楽祭のプロデュース、さらに映画音楽やドラマ音楽の映像分野まで手掛ける山内達哉。自らも演奏家としてユニークなユニットをプロデュース。その活動は、日本の歴史や失われつつある原風景を音楽にのせて届けたいという想いを「日本の心」と題し、ヴァイオリンと尺八など和楽器との共演スタイルで、音楽界に新たな息吹を吹き込む。全国を旅しながら、訪れた地をテーマに作曲するその作風は、「ふるさと」を思い起こさせ、これまで手掛けた、「校歌」や「地域の曲」など日本中多くの人々に親しまれている。また、音楽を通じた町おこしにも力を注ぎ、音楽祭やイベントのプロデュースの他、災害復興支援にも積極的に取り組んでいる。海外公演も活発に行い、その活動は「外務省在外公館長表彰」「第一回埼玉グローバル賞」等表彰される。近年の主な活動としては、堤幸彦監督作品の KADOKAWA映画「望み」の音楽を制作、自ら演奏し、演奏家・作曲家としても注目を集め、2020年「ユニバーサル・ミュージック・ジャパン」よりメジャーデビュー。ABC TV佐々木蔵之介主演ドラマ「ミヤコが京都にやって来た！」の音楽担当、作曲・演奏。桐朋学園芸術短期大学作曲非常勤講師。「埼玉県親善大使」「みやこんじょ大使」「朝来市観光大使」「国文祭・芸文祭みやざき2020広報アンバサダー」

山内 達哉



ギター 青木 将



ベース 西村 友貴

プロデュースユニット

VIOLINCE〜ヴァイオリンと歌による抒情溢れる旋律の掛け合い〜

ヴァイオリン/山内 達哉、テノール/田中 良和、
ギター/青木 将 ベース/西村 友貴、ピアノ/小堺 香

「日本の心」〜日本の歴史、失われつつある原風景を音楽にのせて〜

ヴァイオリン/山内 達哉、尺八/大河内 淳矢、
ギター/青木 将 ベース/西村 友貴、ピアノ/小堺 香



ピアノ 小堺 香



尺八 大河内 淳矢



テノール歌手 田中 良和

株式会社いちべる

TEL:050-3337-7639 <http://ichibell.net/>

〒165-0033 東京都中野区若宮2-33-5 FAX:03-5373-7760 info@ichibell.net

